

# 貸し出し絵本 あらすじ集① こじか組



人間と仲良くなり  
たい赤鬼が人間と  
仲良くすることに  
失敗して親友の青  
鬼に相談します。  
そこで青鬼が考え  
た作戦は、自分が  
人間の村で…



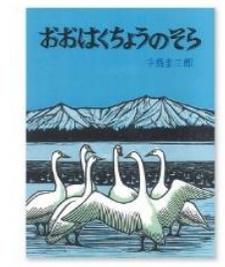
けいていーはキャタピラ  
のついている赤いトラク  
ターです。除雪機をつけ  
ると、雪をかきのけるこ  
とができます。でも、雪  
の少ないうちはけいて  
いーはじっと待ってな  
ければいけません。ある  
日大雪がふり、ほかの雪  
かきトラクターは動けな  
くなりました。



「みるな」と、あね  
さまからかたく言わ  
れた12番目のくらの  
戸を、ついにあけて  
しまった若者は…  
…。日本の四季が息をの  
む美しさで描かれた  
昔話絵本です。



たいは、なかよしのこ  
うたと、すごいけんかをし  
た。けりをいれて、パン  
チした。さいごにこうど  
つかれて、しりもちをつ  
いた。くやくして、泣き  
ながら走ってうちに  
帰った。こうだがあや  
まってくれたけど、まだ  
けんかの気持ちは終わら  
ない…。



病気で空を飛ぶこと  
のできない子どものた  
めに、北の国に帰る時  
期を遅らせていたお  
おはくちょうの家族。  
しかし旅立ちの日  
は近づいています。そ  
して、おとうさんは  
子どもをおいていく  
ことに…。



病気のお母さんに食  
べさせようと、3人の  
兄弟たちは、やまなし  
をもぎに出かけます。  
道すがら、ひとりの  
婆さまに声をかけられ  
ますが、上の2人は婆  
さまの話をお聞きしな  
いままに、沼の底に  
飲み込まれてしま  
いました。



サルが山からおりて  
きて、海に釣り糸をた  
らすと、大ダコが現  
れて糸を引っぱり、  
竿をとろうとします。  
そこで2匹の引っぱり  
あいになり、それが  
助けをよび、引っ張  
り合いが始まります。



おじいさんの大切な  
おばさんを殺したた  
ぬきの仇をとるべく、  
勇敢で賢いうさぎは、  
あれよこれよとたぬ  
きに仕返しをします。  
たぬきはうさぎの言  
うことを信じて、痛  
い目に遭い、最期は  
…。



くまさか先生はある  
とき授業の終わりに  
宿題を出します。ど  
んなぞろぼうをし  
てくるのかと思いき  
や、自分のうちから  
取ってきたとか、あ  
りのたまごをどろ  
ぼうしてきたとか…



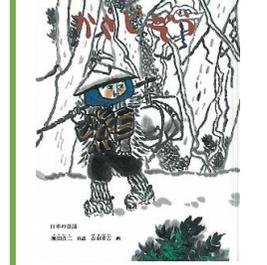
帰り道の途中で大  
きなキャラメルを見  
つけたぺっちゃん  
は大喜び。妹のなっ  
ちゃんがこないう  
ちにと夢中でなめ  
ていると、3びきの  
大きな黒ありに取  
り囲まれて…



ふしぎな少年の勇  
気と友情が、人々に  
恐れられていた竜  
の心をなごませ  
ます。気品ある絵  
が、愛と善意の世  
界の奥ゆきを深め  
ています。



老人があらわれて、  
ひとつぶのめば子ど  
もがひとり生まれ  
るといふ小さな丸  
薬を九つくれました。  
おばあさんがその  
丸薬をのむと、あ  
る日とつぜん、九  
人のあかんぼうが  
生まれました。



正月の餅を買うた  
めに、笠を持って町  
に出かけました。  
戻ってくる途中、野  
原に立っているお地  
蔵さまに雪が積も  
っているのを見て、  
持っていた笠を全  
部かぶせてあげま  
した。翌朝、どこ  
からか櫓引きの  
声…。



消防署で働く彼ら  
の姿は、いつ何度読  
んでも胸がドキキ  
してしまうのです。  
正確な描写、迫力  
のあるスピード感、  
その上愛嬌まであ  
って。子どもたち  
が本当に夢中にな  
るのは小さなしゅ  
ふたの雄姿なん  
ですね。胸がス  
カッとする1冊  
です。



かあちゃんに毎日  
おこられてばかり  
のけんちゃん。子  
どもの気持ちを  
ていねいに描き、  
毎日の中にある  
大切な自分の  
気持ち、家族を  
愛おしく想う  
気持ちを発見  
させてくれます。



ふぶきの夜ゆきお  
んなに出会い、父  
親を失ったみの  
きち。意気消沈  
したみのきちは、  
旅をする娘と幸  
せになります。  
その娘の正体は  
…。



貧しいワルターは  
リンゴの木を一本  
持っていました  
が、実が一つも  
ありません。「ひ  
とつでいいから  
実がなりますよ  
うに」とワルター  
は願います。その  
願いは叶って…



春に生まれ、夏に  
大きく成長し、秋  
に紅葉となり、冬  
には枯れゆく、そ  
して春には新た  
な命の営みが始  
まる。命が巡る  
巡っていくことを  
優しく語りかけ  
てくれるような  
物語です。



雪深い山里で一羽  
の鶴が翼に矢をう  
けて、苦しそうに  
しています。そこ  
を通りかかった、  
若者の男が、矢を  
引き抜き、介抱し  
てあげました。そ  
の晩、家の戸の  
前に美しい女  
が…。



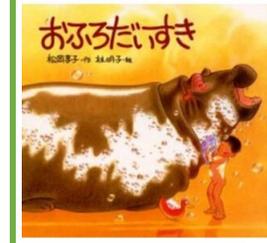
ハリは黒いブチが  
ある白犬。なん  
でも好きだけど、  
お風呂は大嫌い  
。ある日、お風呂  
にお湯を入れる  
音が聞こえると、  
ハリはお風呂の  
ブラシを持って  
逃げだします。



ケーブルカーの  
歴史を綴り、廃止  
運動を乗り越え  
て存続するに  
至ったケーブル  
カーをメーブル  
という主人公  
を通して描いた  
お話です。



働きすぎて、目  
をまわした信号  
機のびかくん。  
さあ、街は大混  
乱。人も自動車  
もごちゃごちゃ  
になります。長  
新太のユーモア  
たっぷりな細か  
くかきこまれた  
絵で信号機の1  
日を描きます。



ほくはおぶろが  
大好き。あひる  
のプックをつ  
つけたはいると、  
かめやペンギン、  
オットセイやく  
じらまで登場し  
て…。子どもの  
空想の世界が  
描かれています  
よ。



ある日、ぼうや  
は、わゴムがど  
のくらいひるか  
、ためしてみる  
ことにしまし  
た。部屋からそ  
とへ、バスで、  
車で、飛行機で、  
わゴムはど  
んとどんとど  
んとびて…。



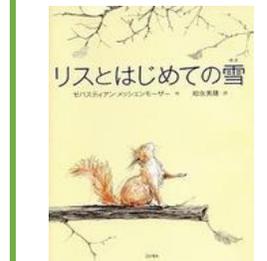
おたんじょうび  
に届いたプレゼント  
。びんにはい  
ったおたまじゃく  
し!!  
しかし、びんの中  
から台所のながし  
、お風呂の中、  
そしてもうど  
うみてもアパート  
には無理なほど  
大きくなって  
しまいます。



懐中電灯でほっ  
ぺたを照らすと赤  
く見えるのは、  
なぜだろうか。  
やさしい実験を  
おこなうながら、  
血の動きをわか  
りやすく描き、  
血と生命の大切  
さを伝えます。



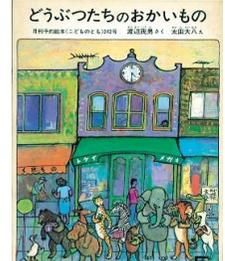
「かがみよ かが  
みよこのよ いち  
ばん うつくしい  
のはだあれ？」  
おきさきさまは、  
まいにち かが  
みにむかって た  
すねます。



冬のあいだ、す  
っとねむっている  
リスとハリネズミ  
とクマは、雪を見  
たことがありませ  
ん。白くて、しめ  
っぽくて、つめた  
くて、やわらか  
い…。雪を見る  
ために、冬がく  
るまで、おきて  
いなくちゃー!!

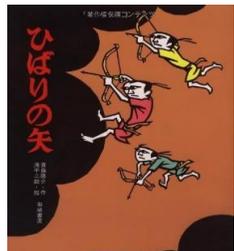
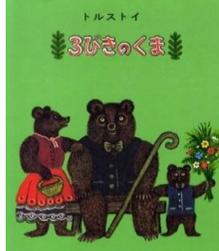


お母さんはあや  
ちゃんが生まれた  
ことを話してく  
れます。赤ちゃん  
誕生をめぐる家  
族の期待、喜び、  
感動を、しみじ  
みと温かく描  
きます。



動物たちが町へ  
買い物に行きま  
した。チータは  
蝶ネクタイ、シ  
マウマは羽の付  
いた帽子、ワニ  
は…。買い物  
を終えたみんな  
は、動物園のカ  
モシカの家へ  
きました。一軒  
ごとの店の佇  
まいと動物の  
表情が楽しい  
絵本です。

# 貸し出し絵本 あらすじ集② こじか組

 <p>八郎</p>	<p>八郎は樫の木ほどもある大男でしたが、もっともっと大きくなりたいと願います。村を守るために海に入り、波と闘い、海に沈みながら、八郎はなぜ自分がこれまで大きくなかったのかを悟ります。</p>	 <p>ひばりの矢</p>	<p>むかし、天にあったひばりの巢。悪い黒雲おやじに子どもをふみ殺されたひばり一郎次は弓矢で…。麦になったというひばりの矢の物語。</p>	 <p>火の鳥</p>	<p>夜中、妹のあさを小便に起こしたとき、夜空いっぱい青白くもえる流星群をみた。火の鳥が飛んだのだ。その年はキキンになる。あさは火の鳥を退治せねばと山へ入ったが……。</p>	 <p>半日村</p>	<p>一日のうちに半日しか日のあたらぬ半日村。この貧しい村に少しでも日があたるようにと、村の後ろの山をけずろうと決心した一平。始め村人は笑っていたが、次第に協力してとうとう……。</p>	 <p>猫山</p>	<p>イワナを釣りに来て山奥へ迷いこんだ三平は山の中にぼっと明るいまどを見つけた……。力を合わせて猫ばばを退治する痛快な絵本。</p>
 <p>花の山</p>	<p>おなごわらしのあやは、山菜を取りに行き迷い込んだ山奥で、目もさめんばかりの一面の花を見る。優しいことをすれば、花がひとつ咲く。うそではねえ。本当のことだ……。</p>	 <p>ふき</p>	<p>春、ふきのとうが芽を出すと、大男の大太郎はふきという女の子のことを思い出す。ふきは、おとうを殺した青鬼に戦いをいどんだ。その時なだれがおきて……</p>	 <p>トルストイ 3ひきのくま</p>	<p>森で迷子になった女の子は、小さな家を見つけます。食堂には大きなお椀、中くらいのお椀、小さなお椀に入ったスープが。女の子は小さなお椀のスープをぜんぶ飲んでしまいます。実はこの家は3匹のくまの家でした……。</p>	 <p>くるんばのようちえん</p>	<p>ぐるんばは、ひとりぼっちの大きなぞうです。ピスケットやさん、靴屋さん、ピアノ工場、自動車工場…色々な仕事場で一生懸命に働きますが、つくるものが大きすぎて失敗ばかり。そんなときぐるんばは、子どもがたくさんいるお母さんに出会います。</p>	 <p>わらってよ カバのはいしゃさん</p>	<p>このごろ、こわい顔して愛想のよくないカバの歯医者さん。患者さんは歯がいたいけど、カバさんはこわい顔。どうしたのでしょう。</p>
 <p>こすずめのぼうけん</p>	<p>「ぼくはひとりで、せかいじゅうをみてこられる」でも、こすずめは、遠くまで行って、迷子になってしまいました。すこしずつ羽根がいたくなってきました。</p>	 <p>ねずみのあいしさま</p>	<p>大雪が降る夜。ねずみのおいしさまが寝ていると、リスさんから電話がかかってきました。「ぼうやがかぜをひいて、ねつをだしていますから、すぐきてください」。奥さんに心配されながら、ねずみのおいしさまはスクーターに乗って出かけていきます。</p>	 <p>さるじぞう</p>	<p>「さるのおしりはぬらしでも、じぞうのしりはぬらすなよ」おじいさんをお地蔵様とまちがえたおさるたち、川向こうのお堂へおまつりしようと、はやしうたをうたいながらおじいさんをかかえて川を渡っていき……。</p>				